

学校だより



# 稲荷台

令和5年6月30日

7月号

横浜市立稲荷台小学校

## 7月も元気に

校長 中山 正之

6月19日にプール開きを行い、水泳学習が始まりました。昨年度までは、コロナのために限られた回数しか入ることができず、水に入ることを楽しんだり泳力を伸ばしたりすることが難しかったのですが、今年は各学年とも10時間程度の学習を行えるようにスケジュールを組んでいます。天候や水温の関係で予定の全てを実施することは難しいですが、できるだけ多く時間を確保したいと思います。

プール開きでは、泳ぎが上達するために知っていてほしい事柄として、上手に浮かぶことと、水の中で進む時に力を入れ過ぎないことを話しました。泳ぎを練習している子ども達の様子を見てみると、前に進もうと必死になり、全身に力の入った状態で手足を動かしていることがしばしばあります。水中では自分の体を浮かせること、そして進むためにはリラックスして体をコントロールすることが大切だと私は思います。言うは易しなのですが、これらを子ども達が身に付けるには、やはり水中で一定量の時間を過ごすことが必要だと思います。2年生以上はこれまで水泳を行ってきた回数が少ないために、どの学年でも苦労している子どもが少なくありません。今年は先生方にしっかりと指導してもらいながら、少しずつコツを身に付けていくことを期待しています。また、水泳学習では稲荷台ユナイテッドの保護者の皆様が、プールボランティアとして子ども達の学習中の安全を見守ってくださっています。大変ありがたいことです。多くの見守る目がある中で、子ども達が水泳を楽しみ、力を伸ばしてほしいものです。

さて、これから始まる工事についてお知らせいたします。本校には教室のある校舎棟と、職員室や体育館のある管理棟の二つがありますが、校舎棟の外壁の経年劣化が目立ってきたので、改修工事を行うことになりました。この工事では外壁の補修と塗装、サッシの付け替え、屋上の防水シートの交換等を行います。6月下旬から10月中旬にかけて行われる大きな工事です。外壁補修やサッシの付け替えなど、音の出る大きな作業は夏休み中に行うようにしていますが、7月には校舎を取り囲むように足場を組み、養生シートで全体を覆うこととなります。暑さが厳しくなる時期なので、子ども達の生活に支障が出ないようにエアコンを適切に使い、換気等をしっかり行うようにしていきます。

ところで、今回の工事を機に、現校舎の建築時期について調べてみたところ、校舎棟が建てられたのは1976（昭和51）年、今年で築47年になります。ちなみに管理棟は1993（平成5）年に建てられ、築30年になります。このところ校舎棟の外壁は塗料があちこちではがれ、ひび割れが目立ちます。また、激しい雨が降ると雨漏りも見られます。現在、横浜市の学校校舎の使用年数は70年と言われておりますので、今回の工事で悪い箇所をしっかりと直し、堅牢で安全な校舎として秋を迎えたいものです。

このほか7月に入ると、4年生が三浦へ、6年生が日光へ宿泊学習に出かけます。こちらの学年も、現在熱心に準備を進めています。充実した活動になることを期待しています。これから暑さの厳しい季節を迎えますが、子ども達には健康で安全な学校生活を送ってほしいものです。夏休みももうすぐです。